

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

良好な市街地形成による魅力あるまちづくり 事後評価

令 和 4 年 9 月

群 馬 県 太 田 市

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 4年 9月 5日

計画の名称	良好な市街地形成による魅力あるまちづくり									
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)	交付対象	太田市							
計画の目標	土地区画整理事業の推進により、道路、公園等の公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図るとともに、良好な住環境を形成し、魅力あるまちづくりを目標にします。									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が安心、安全に円滑に移動できる都市空間を創出し、快適に暮らせる住環境を形成することで居住人口を増加させる。 満足度下位項目 (満足していない) に区分される市街地の整備 (区画整理事業) における満足度を向上させる。 									
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値		備考					
			当初現況値 (H28年1月末)	中間目標値	最終目標値 (令和2年度末)					
住民基本台帳をもとに居住人口を調査する。 【参考】 H28年1月末 太田地区：10,279人、宝泉地区：24,477人	太田	10,279人	—	—	太田 10,500人 宝泉 25,000人					
太田市の取組に対する満足度と重要度に関するアンケート 問15「市街地の整備」事業地区の数値向上 (太田地区、宝泉地区) 【参考】 H27【市街地の整備】太田地区：3.704、宝泉地区：3.819、太田市全体：3.841 (平均値) 【総合満足度】太田地区：4.060、宝泉地区：4.187、太田市全体：4.207 (平均値)	太田 宝泉	3.704 3.819	—	—	太田 4.000 宝泉 4.000					
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,471百万円	A	4,471百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) + C) / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
太田市	令和4年9月
	公表の方法
	太田市ホームページにて公表

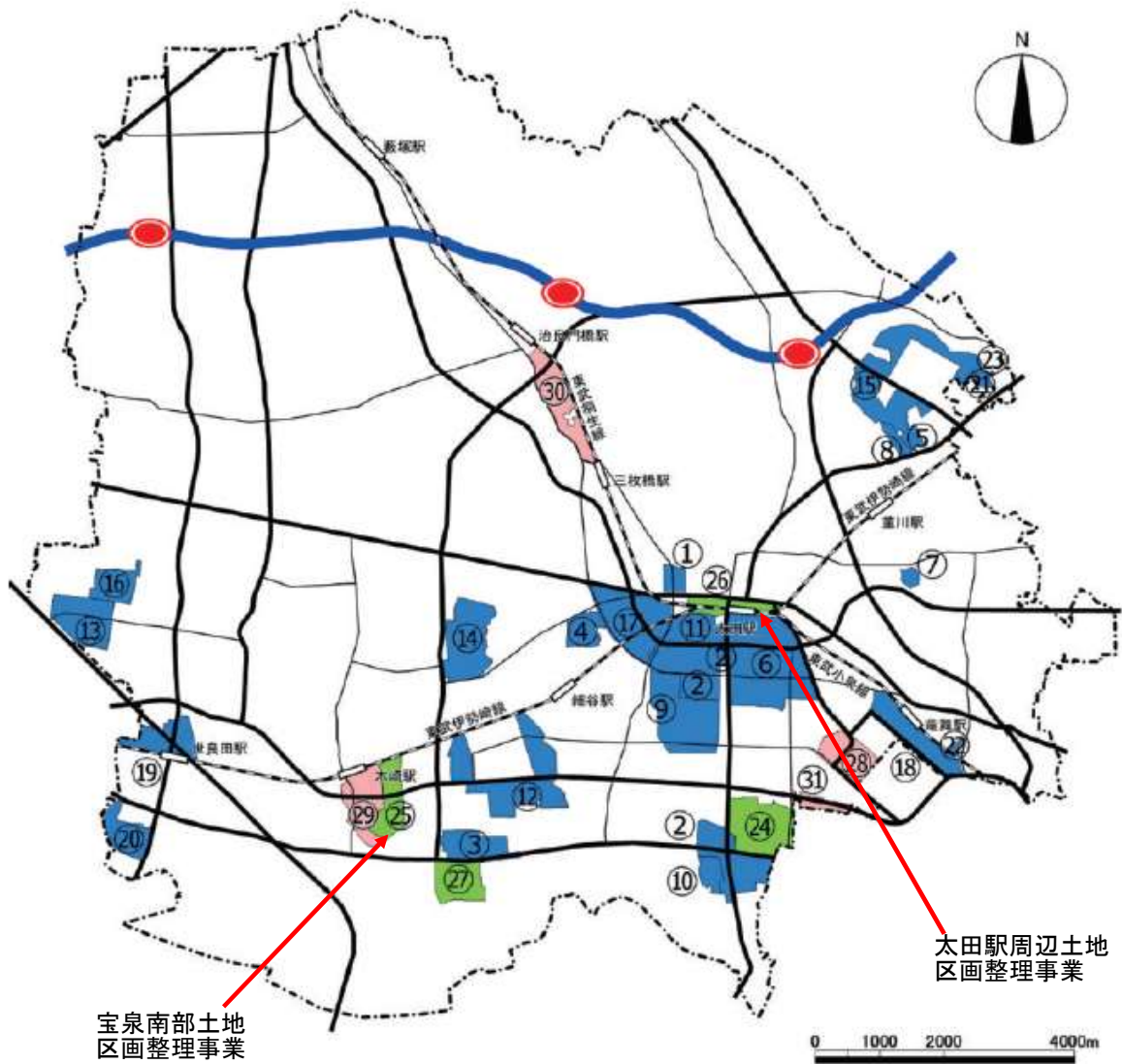
1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 地方道路整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	R1	R2		
41-A1	区画	一般	太田市	直接	太田市	太田駅周辺地区	31.0ha	太田市						2,245	
41-A2	区画	一般	太田市	直接	太田市	宝泉南部地区	42.6ha	太田市						1,496	
41-A3	都再区画	一般	太田市	直接	太田市	太田駅周辺地区	31.0ha	太田市						730	
合計											4,471				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	R1	R2		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	R1	R2		
合計															
番号											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・快適に暮らせる住環境を形成することにより太田地区、宝泉地区の居住人口の増加を目標とした。太田地区、宝泉地区とも達成に至らなかった。宝泉地区については達成には至らなかったものの、事業を実施した行政区（中根町、西田島1区、西田島2区の各一部）に限れば大幅な増加となった（1,805人→2,217人、+22.83%）。 ・市民満足度アンケートの数値（満足度）の増加を目標とした。最終実績値は最終目標値を超えなかった。満足度の数値は年度によりバラツキがあり、太田地区については、平成28年度に3.970となり目標値にかなり近づいたことがあり、宝泉地区については、平成30年度に4.057と目標値を超えたことがあった。 					
II 定量的指標の達成状況	地区の居住人口の増加	最終目標値	太田地区 宝泉地区	10,500人 25,000人	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業をおこなっているのは各地区の一部であり、地区全体の人口を増加させるほどの効果は得られなかった。	
		最終実績値	太田地区 宝泉地区	9,837人 24,404人			
	市民満足度アンケートの数値の増加	最終目標値	太田地区 宝泉地区	4.000 4.000	目標値と実績値に差が出た要因		計画期間中に目標値に近づいたり、目標値を超えたことがあったが、ここ数年、河川の改修及び都市計画道路の築造をおこなっており、長期間を要する公共施設の整備の途上で満足度が低下したものと推測する。
		最終実績値	太田地区 宝泉地区	3.659 3.510			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)							
3. 特記事項（今後の方針等）							
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き土地区画整理事業を推進することにより、居住人口の増加及び市民満足度の向上を図っていきたい。 ・この間の太田市の居住人口（日本人住民）は、214,179人から211,949人（-1.04%）に減少しており、人口減少時代に人口を増加させるのは難しいと痛感した。宝泉南部土地区画整理事業地内においては、事業により良質な宅地を供給し、スーパーやショッピングモールが建ち並び利便性が向上し、戸建てや集合住宅も増え事業地区内の居住人口の増加に寄与した。太田駅周辺土地区画整理事業においては、今のところ事業の効果は十分に表れていないが、事業により老朽化した建物の除却を進める等、良好な居住環境が形成されつつあり、不在地主の減少等による新たな土地利用が増えていき居住人口の維持・安定に寄与するものと期待している。 							

計画の名称	良好な市街地形成による魅力あるまちづくり		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	太田市

図：土地区画整理事業位置図



宝泉南部土地区画整理事業

太田駅周辺土地区画整理事業

凡 例			
基本			
	高速道路		インターチェンジ
	幹線道路 (計画・構想を含む)		鉄道
	主要幹線道路 (計画・構想を含む)		
土地区画整理事業			
	施行済		施行中
	施行予定		